

地域屈指の設備と技術で地域産業を下支え 蓄積した金属加工技術を活かし航空機産業へ挑戦

1961年に機械部品の熱処理業者として創業。現在では、業界でも珍しい熱処理加工と機械加工、両方の技術を有する総合金属加工メーカーとして、道内外約450社と取引実績がある。特に、道内の金属熱処理加工においては、90%以上のシェアを誇り、自動車・建設機械・農機具など、多種多様な機械部品の受託加工、溶接油圧シリンダー・工業機械用刃物などの設計・製作を行っている。近年は、創業以来蓄積された金属加工の技術を活かし、品質要求が厳しい航空機産業への進出に挑戦している。

所在地	北海道札幌市東区東雁来3条1丁目1-27	設立	1963年
電話/FAX	011-781-5555 / 011-781-0034	資本金	6,000万円
URL	http://www.ikenetu.com/	従業員数	46人
代表者	代表取締役 池田 隆久		



万全の品質管理体制と社内一貫体制により顧客の幅広いニーズに対応

同社は、熱処理加工、機械加工ともにISO9001に準拠した万全の品質管理体制を敷いており、材料の選定から機械加工、熱処理、検査まで社内一貫で製造できることが強みである。特に、溶接タイプ油圧シリンダーは設計から納品まで自社で一貫生産が可能であり、試作品から量産品、小物から大物まで幅広いニーズに対応している。同社のシリンダーは、高精度で制御性がよく、過酷な環境にも耐え得ると、顧客からの評価も高い。近年は、刃物製造にも力をいれており短納期・高品質の製品づくりに日々専念している。



油圧シリンダー(圧偏機用)

積極的な設備の導入とたゆまぬ改善活動により生産性向上を実現

自動車部品の大量生産に対応するため、24時間自動運転が可能なガス軟窒化炉や自動通検ラインを導入するなど、より生産性の高い設備の導入を積極的に行っている。また、工程管理の方法を改善したり、専門家を招き、人・物・機械の動線の見直しを行うなど、業務効率化を積極的に進めている。近年は、生産現場に限らず業務効率化のための改善提案を促進するため、意見・提案箱を設置。改善活動は自社ウェブサイト上で逐次公表し、効率化と従業員モチベーションアップの両立を図っている。



ガス軟窒化炉

蓄積した金属加工技術をもとに新分野へも積極的に挑戦

同社は、航空機エンジン部品への事業参入を目指し、2018年には道内企業8社からなる「札幌エアークラフトサプライヤークラブ」を結成した。航空機エンジン部品は、極限までの軽量化と耐久性の確保を両立する必要がある、加工技術難易度が極めて高いことが特徴である。しかし品質要求が厳しい反面、事業規模が大きく、地域の活性化にも繋がると考え参入を決めた。現状に満足することなく、創業以来培ってきた金属加工技術を活かして新分野にも積極的に挑戦する姿勢は同社の強みの1つである。



本社工場